

学校教育目標

(1) 学校教育目標

**『互いのよさを認め合い、支え合いながら、
それぞれの夢や希望の実現に向けて、
主体的に取り組む子どもを育てます』**

キャッチフレーズ

「夢いっぱい あざみ野第一小」

☆ 具体目標 ☆

- 一人ひとりのよさを認め合い、豊かな心を培う人間関係を大切にします。……………《共生》
- 一人ひとりの能力や個性が、豊かに発揮されるようにします。……………《個性》
- 様々な課題や困難に、粘り強く立ち向かっていく力を育てます。……………《自立》
- 新しい考えや発想のすばらしさを素直に讃え合い、
学ぶことのすばらしさを実感し、学び合いの質を高めていくことを大切にします。…《学び合い》

(2) 平成20年度学校経営の基本方針

- 1 児童一人ひとりがかけがえのない存在として大切にされ、健康で楽しく過ごせる学校づくりに努める。
- 2 豊かな心を育み、明るさと優しさにあふれる学校づくりに努める。
- 3 子どもたちの夢が生まれ、夢がふくらみ、夢が実現されていく学校づくりに努める。
- 4 家庭・地域との連携を深め、地域の教育力を生かすなど、地域に開かれた学校づくりに努める。

(3) 学校経営の重点

1 子どもたち一人ひとりのよさを伸ばす支援に努める

- 基礎・基本を重視するとともに、学習の総合化を推進する。
- 「わかる授業」を展開するための指導方法の工夫改善に取り組む。
・習熟度に応じた指導、少人数指導等の充実
- 学ぶ意欲・学習習慣を身につけ、主体的に対応できる能力の育成に取り組む。
- 一人ひとりの成長課題の把握と、個に応じた支援体制の確立を図り、生き生きとした学校生活を送れるよう支援に努める。

2 確かな子ども理解とそれに基づく学年・学級経営の充実に努める。

- 「だれでも」「安心して」「豊かに」を目指した人権尊重の精神を基盤とした教育活動の推進に努める。
- 特別支援教育委員会の充実を図り、個々の教育的ニーズに応じた指導を進める。
- 子どもの一人ひとりが自分を発揮し、受け入れられる学級づくりを推し進める。
- 子どもの居場所としての物的、心的な教室環境の整備に努める。
- 「全校たてわり活動」や学級の枠をこえた学年内の活動の場を工夫し、交友関係を広げる。

3 言語環境、生活環境の充実を図り、「こころの教育」を推進する。

- 毎朝の「あいさつ運動」の推進や、下校時の見送りなどを通して、子どもどうし、子どもと教職員の心が通い合う機会をつくる。
- 美しく心の通じ合う言葉があふれる学校にするために子ども、教職員の言語環境を整えていく。
- 整備された環境で日々生活できるよう校舎内外の環境整備に努める。
- 花いっぱいの学校を目指し、花壇やワイワイランドの畑の整備に努める。

4 生活習慣病の予防を目的とした健康増進活動を推進する。

- 体力の向上を目指し、日常的に運動できる環境を提供する。
- 定期的に自らの生活習慣を振り返る機会を設定し、問題点の把握と改善への支援を行う。

5 特色ある学校学校づくりを推進する。

- 情報教育の充実を図る。
 - ・ 学校の情報発信の場として定期的な更新の体制を整え、学校の「ホームページ」の充実に努める。
- 各教科・領域、総合的な学習の時間などでワイワイランドを本校の特色として積極的に活用するとともに、その整備に努める。
- 21年度からの英語活動全市実施に向け、授業展開のあり方や教材の収集に努める。
- 総合的な学習の時間の充実を図る。
- たてわり班の活動充実を図る。

6 安心・安全な学校づくりに努め、一人ひとりの危機管理意識を高める。

- かけがえのない子どもたちを危険から守るための対策を常に講じる。
- 自他の命を守ることの大切さを指導し、訓練などを通して危険回避対処の方法を身につける。

7 家庭・地域・関係機関との交流・連携・協働を進め、開かれた学校づくりに努める。

- 家庭・地域との連携を大切にする。
- 保護者や地域の方々に広く学校を公開する。(オープンスクール)
- 専門的な知識や技能をもった方を講師として招き、子どもたちの体験的な経験の機会を多くする。(ゲストティーチャー)

8 教職員の脂質・能力の向上と研修の充実を図る。

- 自己の職務・職責の遂行と保護者・児童の信頼感・期待感に応える着実な教育実践に努める。
- 教育専門職として積極的な研究・研修に励み、指導力の向上に努めるとともに、価値ある生き方を求めた自己変革に努力する。

9 学校経営に生かされる学校評価(内部・外部評価)のあり方を検討し、実践する。

- 自己点検・自己評価をもとに改善に努め、生きる力を育む学校を築いていく。
- 学校評価ガイドに則った外部評価をもとに、学校の活性化を図る。